

## <金標準、金利高止まり姿勢で調整安の動き・・・>



(出所：オアシス)

米国やカナダの消費者物価指数が低下し、世界的なインフレ低下の期待が高まりを見せたが、英国の消費者物価指数は事前予想を上回るなど高い水準を維持している。また FOMC 議事録では FF レート誘導目標をより長期に高水準で維持することが望ましいとの認識で当局者が一致するなど、またインフレ率を当局の目標に下げる上で金融政策が十分に景気抑制的かどうかを巡り「多く」が疑問を抱いていた事が公表されている。そのため政策金利に近い短期 2 年債の金利は 5% に近付くなど金利は上昇し、金利を生まない金にとってマイナス要因を受けている。特に週末に発表されたミシガン大消費者信頼感指数では、速報値 (3.5%) から比べ 1 年先のインフレ期待は 3.3% へ低下したが、依然と目標の 2% に比べて高い水準が保たれている事からも頭が重たい値動きを見せている。ただ円建て金標準先物は、神田財務官の発言を受けても 156 円台を維持するなど円安効果が存在する事から下げ渋る値動きを続けているが、今週は下値模索の値動きに注意したいと思われる。

### <テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD は **MACD** が下げながら **シグナル** を下回っている。RCI では **短期** が下げて、**中期** も下げておりオシレーターは下値追いの展開に思え、**40 日移動平均線** が位置する **11618 円** へ向けた値動きに注意が必要と思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 2,445,000 円(2024 年 5 月 27 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 76,560 円(2024 年 5 月 27 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)  
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター  
<https://www.nisshokyo.or.jp>